

4. マイコン使用による新生児 data filing および検索用プログラムの開発

仁志田 博 司(北里大学医学部小児科)
木 村 英 正(")
中 村 恒 雄(")
斉 藤 幸 一(")

1. プログラム開発の目的

医療の現場におけるマイコン使用において、data 入力には実際に患者にタッチする者が、日常の行務の流れをそこなわず、その行務の一部として行うのが望ましい。我々は、北里大学新生児室において、入院時・退院時の医師による患児dataの入力が定まった書式の文章となって print out され、入院および退院カルテとなり、また年報および学会報告の際の data 検索と data 解析に使用される data file が同時に行われるプログラムの開発を行った。

2. 使用機器と言語

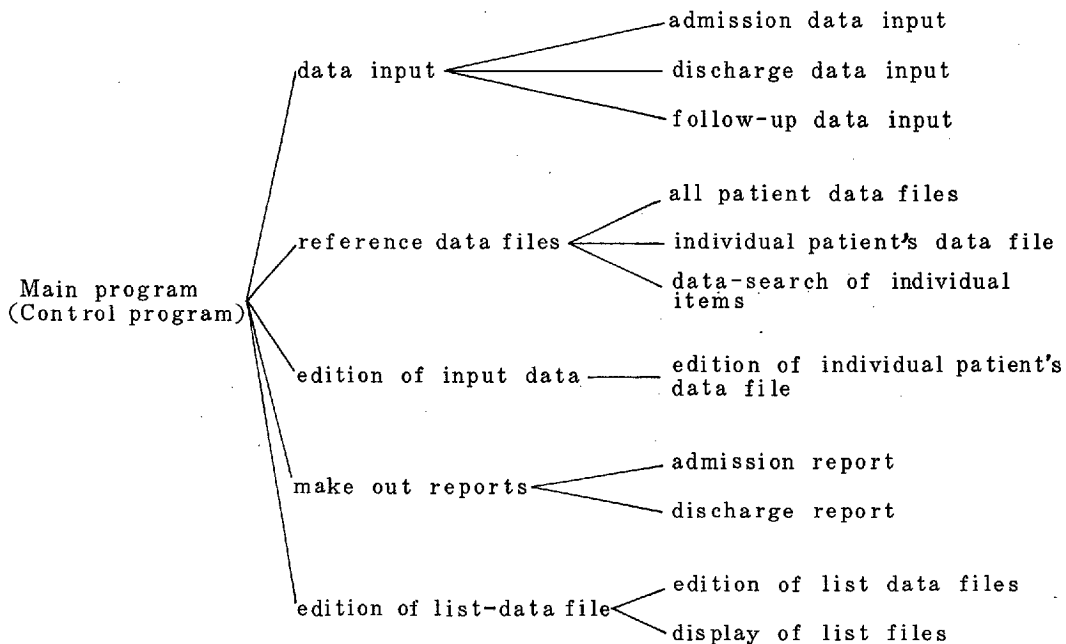
日立BASIC MASTER LEVEL III MB-68902 を基本として、拡張RAM Card MP-9717 と標準 floppy disk card MP-1806 を介して標準 8924 floppy disk MP-3630 を持続し、また colour display C14-2170 および dot printer MP-1041 を装備した。使用言語は Level III Disk BASIC MA-5310 である。メモリー容量は 29,360 bite であり、floppy disk 記憶容量は両面倍密度 1 メガバイトである。和文使用は医学用語の特性上、逆に複雑であり、かつ入力が医師によって行われる事を前提とした為、全て英文の入力とした。

3. プログラムの説明

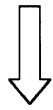
図1に示す如く、管理プログラムの下に、data 入力、file 検索、入力 data 編集、report 作成、list data 編集の5つの main program があり、さらに sub program に分かれる。data 入力プログラムは、入院時・退院時 follow-up 時の入力に分かれ、全て対話型式でなされる。入力項目は 32 項目である。report 作成プログラムにより、入院・退院 data 入力後、入院カルテ、退院カルテとして定まった文章として print out される。入力 data 編集は各個人の data file のチェック・訂正を目的としたものである。list data 編集プログラムは、list から code number で入力される 12 種類の list 内容を変更可能としている。file 検索プログラムは、全ての file 表示、個人の file 表示、および 22 の条件に応じた data 検索を行う。

4. 結果および考察

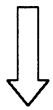
今回のプログラム開発の目的の1つが臨床現場において活用される事であり、現在までテスト期間中に 12 名の実際に患児を見る resident が簡単な使用説明を受けた後に、日常行務の一部として入・退院時の患者 data を 5 分前後で入力しており、満足する結果であった。さらに program 内容の訂正、追加が必要になると考えられる。



☒ 1. system of the program



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



4. 結果および考察

今回のプログラム開発の目的の 1 つが臨床現場において活用される事であり,現在までテスト期間中に12名の実際に患児を看る resident が簡単な使用使明を受けた後に,日常行務の一部として入・退院時の患者 data を 5 分前後で入力しており,満足する結果であった。さらに proram 内容の訂正,追加が必要になると考えられる。